

霧島メガソーラー 反対住民が集会 活動方針を確認

霧島市霧島地区で計 画されている県内最大 級の大規模太陽光発電



所（メガソーラー）建設に反対する住民グループは21日夜、霧島公民館で集会を開いた。写真。署名を集め、事業者に意見書を提出するなど今後の活動方針を確認した。

約60人が参加。森林を伐採し、急傾斜地に切り土や盛り土をして太陽光パネルを設置する計画を巡り、「災害が起きる」「景観も損なわれる」といった反発が相次いだ。

計画地近くの男性（59）は「過去30年間に自宅が三度も浸水し

た。木を切ればさらに水害が誘発される」と懸念。グループの神田嘉延会長（75）は「鹿見島大学名誉教授は「一致団結し、計画を断念させたい」と語った。

事業者は、シフトエナジージャパン（福岡市）が霧島での建設を目的に設立した「SEJ IV 合同会社」。山林約73畝を伐採し、約25万8千枚の太陽光パネルを設置する。発電出力80メガワットを見込む。

霧島市と市議会は建設反対を表明している。（上柿元大輔）